

# こんにちは 婦人会です

いよいよ桜の季節です。今年は開花予想は早かったものの、この頃の花冷えに桜の花も足踏みをしているようです。しかしこの花冷えも、もう少しのようですよ。先日さくら道というテレビドラマを観ていてふと思い出したことがありました。それはダム湖の湖底に沈む運命にあった桜を移植されてその命を救われたという桜の木です。岐阜県の御母衣湖にある「しょうかわさくら 荘川桜」は2本とも「アズマヒガンザクラ」で現在の樹齢 500 年余りと推測されているそうです。とても綺麗だったことを今でも鮮明に覚えています。早くあたたかくなり、桜の名所も大賑わいになってくれることを願っている私ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

## ～婦人会・暮らしのエッセンス～

世界遺産を見にメキシコへ旅行に行ってきたよ～、と珍しい写真を見せに来てくれた変わり者の知人がおりました。それは、マヤ遺跡チチェンイツァの神秘的なククルカン降臨現象の写真で



した。チチェンイツァ遺跡のカステージョ神殿 別名「ククルカン(羽毛の蛇神)」神殿は神殿自体が真北に向いて建てられておらず、やや角度が西にずれているため、春分と秋分の日没の日差しが神殿の西側に当たる時、西側側面の角の部分に北側面の羽毛の蛇神の頭がついている階段に影を落とし、太陽が沈むに従い少しずつその影も変化し羽毛の蛇神が天から舞い降りてくるように見えるのだそうです。言葉で説明しても分かりにくいので、とにかく写真をご覧ください。



一番下に見えるのが蛇頭で、  
その上方に蛇身が伸びているの  
がわかりますか？

桜台婦人会 第87号  
平成21年3月27日